

●第1卷・第2卷

P.10 前書き 右段上部 (譜例 13-1 の下)

なお、ランニング・パスは基本的には威厳や風格を伴うため、多くの場合、ノン・レガート、それも1音1音深みのあるノン・レガートがふさわしい。ただし、部分的にスラーを交えることも可能。

→一文削除（重複のため）

●第1卷

P.41 5. Air 第2小節4拍目右手

誤



2 1 tr

正



2 1 tr

7

●第1卷

P.65 脚注*1

誤



正



●第2卷

P.15 各曲解説 左段

○第2楽章 クラント（2行目）

誤 特に②④からの右手・左手交互に受け継ぐ～

正 特に24からのソプラノとアルトが交互に受け継ぐ～

●第2卷

P.57 脚注*3

誤 G 音

正 D 音

●第2卷

P.85 Courant 第4小節左手バス 誤B音→正D音

誤



正

